

公益社団法人日本理学療法士協会
60 周年記念 PR 動画制作に関する委託業務

仕 様 書

公益社団法人日本理学療法士協会

【1】競争入札に付する事項

(1) 件名

「公益社団法人日本理学療法士協会 60 周年記念 PR 動画制作に関する委託業務」

(2) 制作目的

2026 年 7 月に設立 60 周年を迎えるにあたり、2013 年に制作した PR 動画を刷新し、2025 年に公開することを決定した。国民に理学療法（士）について認知・理解していただき、すべての国民が自分らしく暮らしていくうえで理学療法士が貢献できること、また次の 10 年に向けてさらなる活動の領域を広げていくことを YouTube 公式チャンネルへの掲載、各種イベントでの放映を目的として、当 PR 動画を制作する。

(3) 業務の内容

公益社団法人日本理学療法士協会 60 周年記念 PR 動画の制作に関する作業一式

(4) 業務内容及び委託条件

受託者は、動画制作に際して次の条件で業務を行う。

○企画業務

ア 構成提案

本会が提示するテーマ及びブリーフシートに基づき、PR 動画全体に共通する構成を提案すること。

次に、その構成に基づき、本会が提案する要素とできる理学療法および取材撮影先を基に、1 本ごとの構成を提案し、本会との協議のもと構成を決定する。

○制作業務

ア 取材撮影

動画制作に必要な素材の取材撮影を行うこと。その際は、本会も同行する。

なお、取材撮影先は通常の営業時間内であることが想定されるため、営業を妨害しないよう配慮して行うこと。

- ・取材、写真撮影等については、受託者が関係者へアポイントを取るなどのスケジュール管理を行うこと。また、制作に必要な資料や画像データ等の情報収集、譲渡権や著作権に係る必要な手続きを行うこと。
- ・本会の編集方針に変更が生じた場合には、本会と受託者双方で協議の上対応すること。
- ・業務に伴う機材、交通費、取材費、有償素材の使用料など制作にかかる全ての費用は、受託費に含まれるものとする。

イ 編集・音入れ

①仮編集したものを事前に提出し、本会の承諾を得たうえで本編集に入ること。仮編集時に仮のナレーションを入れること。

②音入れは本会も同席の上で行うか、もしくは、音入れ後の修正指示に対応できる体制とすること。

③画像・動画・音楽については著作権に関する弊害がないものを使用すること。

ウ 納品

受託者は、2025 年 7 月 11 日までに MP4・MOV 形式の汎用拡張子にて、YouTube 用データを納品すること。また、その後、放映に耐えるサイズのデータ納品も行うこと。

本会への納品方法は電子媒体によるものとする。なお、納品に当たっては、ファイル形式等について、事前に本会と十分な調整を行うこと。

(5) 委託業務の実施体制等

本業務が円滑かつ確実に推進できる体制を構築し、総括責任者、実施責任者、スケジュール等を明確にすること。

(6) 動画の仕様

公開時期…2025 年 7 月 17 日（予定）

仕様…YouTube にアップするデータおよび放映用データ

制作本数…2～5 分程度のもの 5 本（うち 1 本はダイジェスト版）

制作テーマ…脳卒中、変形性膝関節症、スポーツ、高齢者のフレイル

ダイジェスト版には、以下の 2 つの要素を盛り込むこと。2 本に分けてもよい。

①今回する 4 つのテーマの紹介

②本会の 2030 年に向けたビジョンの考え方が伝わること

その他…日本語テロップをつけること

(7) 業務期間

自 契約締結日 から

至 2025 年 12 月 31 日 まで

(8) 予算規模

600 万円（税別）を上限とする。

契約金額の範囲は、本仕様書に明記した一切の費用とする。

なお、上限金額で本仕様書に明記された内容全てを賄いきれない場合は、国内出張同行

に限定して、その業務量の単価等を具体的に設定したうえで、提案書等を提出することは可能。

本委託業務の一部については再委託が可能であるが、その過程における一切は受託者が誠実に対応し、責任を負うこと。

【お問い合わせ先】

公益社団法人日本理学療法士協会 事務局 企画部 広報企画課

60 周年記念 PR 動画制作担当

メールアドレス：news★japanpt.or.jp

※E-mail ご利用時は★マークを@に変更してご利用ください。

ブリーフシート

②	▼目的・目標	
	現状の課題	・既存のPR動画は10年前のものなので60周年にあわせて刷新したい ・「理学療法士」の名称は社会に知られてきているものの、幅広い活動領域については十分に知られていない ・最新の理学療法、職域の広がり、貢献度などを伝えたい
	何を (商品、サービスなど)	理学療法士が ・医療・介護・福祉・健康増進など多岐にわたる分野で活動していること ・その目的は患者様・利用者様が自分らしく生きていけるようにすること(=笑顔つづく、すこやかな暮らし)
	誰に(ターゲット)	①患者様・利用者様(40代～高齢者を中心に)を主とする ②学生層(理学療法士になりたいと思っていただく)
	どんな課題を解決したいか	・理学療法士の役割を現在よりもう少し具体的に提示して、知っていただきたい ・10年程度使えるものとして ・国民向けイベント、オープンキャンパスなどでも流せるものとして
③	▼市場の背景/動向	
	・医師、看護師、理学療法士以外のリハビリテーション職(作業療法士・言語聴覚士)、介護士、柔道整復師、アスレチックトレーナーなど、他職種が多くある ・医療・介護においては医師の指示の下での施術となる、国の報酬制度のもとで活動しているなど、制約がある。一方、介護予防・健康増進など保険下ではない領域で職域を拡大できる可能性がある。	
④	▼期待する効果	
	・理学療法士が身近な職種であることを知っていただく ・患者様・利用者様に、理学療法士を信頼してリハビリテーションに取り組んでいただきたいこと	
⑥	▼注意点	
	・病気などで落ち込んでいる場合もあるので、面白おかしくではなく、真摯なメッセージを伝えたい ・著作権は本会にいただきたい。撮影された動画を別の広報媒体で使用する可能性あり	